

子どもたちの未来のために！！



上田染谷丘高等学校 1年 上原 美琉

このテーマを選んだ理由

最近、幼稚園内や家庭内などでの子供が絡んだ事件をよくニュースで見る。また、問題視されている「少子高齢化」や「地球温暖化」が進むことでこれからどうなってしまうのかも分からない社会の中で、**輝かしい子どもたちの未来のために自分たちになにかできることはないのか**と考えたのがきっかけ。

関連するSDGs

関連するのはこの**2**つ！

4 質の高い教育を
みんなに



11 住み続けられる
まちづくりを



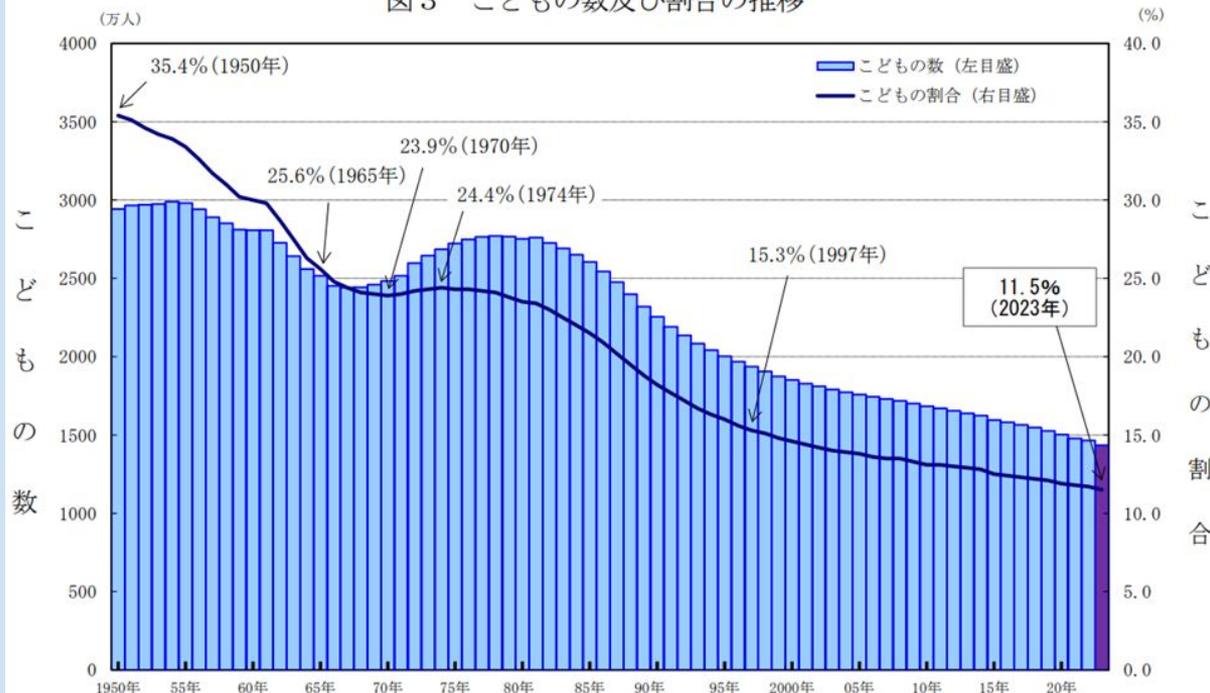
日本の現状1

子供の数は言うまでもな

く**減少傾向**！

少子高齢化加速中！！

図3 こどもの数及び割合の推移

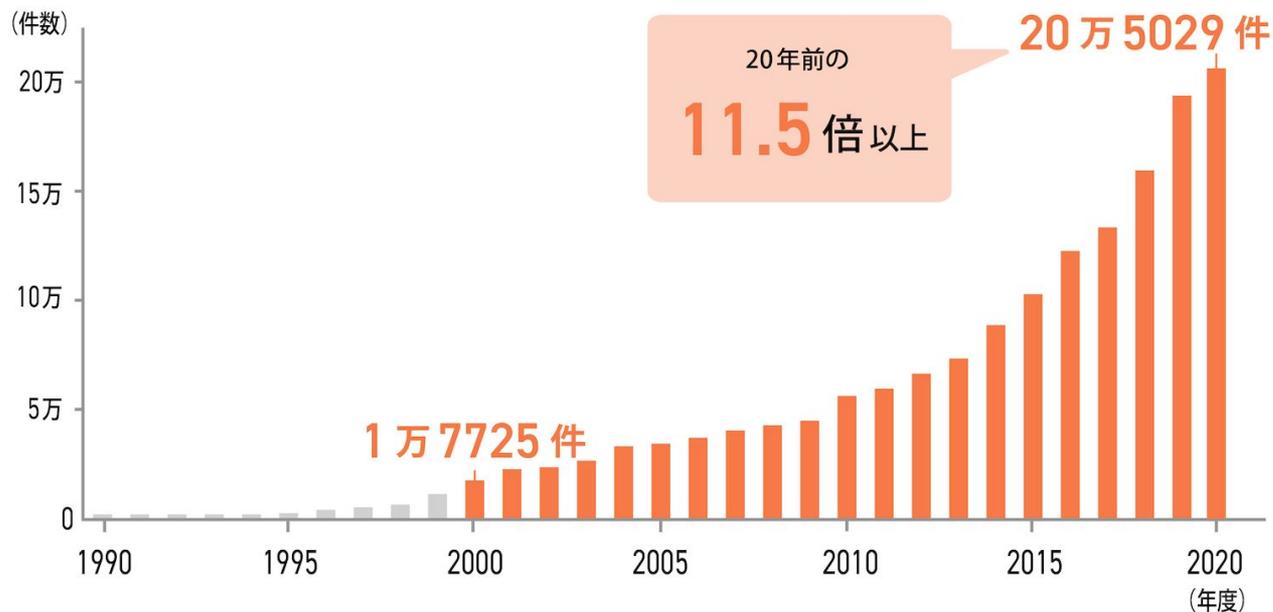


資料： 「国勢調査」及び「人口推計」

注) 2022年及び2023年は4月1日現在、その他は10月1日現在

日本の現状2

児童相談所での児童虐待相談対応件数



児童虐待の割合が

近年**増加傾向**！

虐待の背景にある

のは、大人一人に

かかる子育て負担

やストレスの影響か！？

子供の虐待に関してさらに、、、

児童虐待の定義・・・18歳未満の子供に対して保護者などが行う行為。その種類は、「身体的虐待」「性的虐待」「心理的虐待」

「ネグレクト」の**4種類**！

資料から分かる通り、**周り**
の環境や**社会状況**も虐待に
関係あり！

子ども虐待の背景と要因 (田中哲先生の資料より)

	つながりが失われる	「その人らしさ」が失われる	ルールが失われる
虐待を受けやすい子	なかなか人になつかない (人との関わりを楽しめない)	すべきことができない (不安が強い)	聞き分けがない (心のコントロールが効きにくい)
虐待にはしりやすい親	他人の助けを かりられない (孤立・孤立感が強い)	「その子らしさ」を大切に できない (自分の思い通りに育てようとする)	子育てのルールが 守れない (自分の感情に勝てない)
虐待を生みやすい社会 (コミュニティ)	人と人のつながりが薄い	どこにも 「居場所」がない (その人らしさが大切に されない)	お互いを大切に していない (共有できるルールがない)
虐待が 起こりやすい状況	家庭状況の変化 (失職・転居など)	予定外の妊娠 親自身の被虐待体験	嗜癖(しへき) 精神的な不安定

私が考えるプラスa(提言)



1. 学校で学ぶ学問の中に心理学のような道徳的な学びの導入。子供のユーモアのある発想力や考えを活かして、社会を知るいい機会になると思う。

2. 子どもたちが相談しやすい環境づくりの一環として、学校の先生やカウンセラーとの1対1のつぶやきチャットシステムの導入。(気軽に相談できる場を子どもたちに)

この提言に対する感想

虐待されている子どもたちや、行き場が見つからない今の社会に不安をいただいている子どもたちは少なくないと思う。そのような子どもたちが輝けるような社会実現のためにという思いと自分もまだ18歳未満の子供という立場なので、自分ももし、虐待をされている子供だったらと、立場を置き換えたときに「こんなこと・ものがあつたらいいな」という思いを自分の提言にすることができたので良かった。改めて現代社会のあり方の大切さを実感した。